

🌻 参加者募集！ 🌻

第12回

# かわさき演劇講座

～物語の世界をつくってみよう～

2日間連続講座



5月20日より申込受付開始！

2024年

7月14日(日) 高津市民館 大会議室

7月15日(月・祝) スペース京浜  
(裏面に地図あり)

両日とも 10時～16時(休憩含む)



講師：大西 弘記

演出家・劇作家  
TOKYO ハンバーグ主宰

1972年に始まった「かわさき演劇まつり」は、市内で活動する演劇関係者と市民が、一年一年力を合わせて作り上げてきました。

2001年以降は、演劇の上演と演劇講座を隔年ごとに開催し、市民が演劇に触れる場と、「舞台作り」参加の機会の両輪で事業を進めています。

主催：かわさき演劇まつり実行委員会  
(公財) 川崎市文化財団



第12回かわさき演劇講座  
WEBページ



## ■講師紹介■

### 大西 弘記 (演出家・劇作家 TOKYO ハンバーグ主宰)

1999年～2004年伊藤正次演劇研究所に入所し演劇を始める。2006年に自らの作品を上演するため企画・制作の母体となるTOKYOハンバーグを立ち上げる。社会問題を取り扱いながら、一筋の涙が零れるかどうかといった「心の栄養」をモットーにした、強い普遍性と現代リアルのバランスを保つ丁寧な劇作・演出スタイルで舞台側と客席側を繋ぐ。外部への書下ろし、演出も数多くこなす。2015年『最後に歩く道』(サンモールスタジオ選定賞最優秀演出賞を受賞)。2020年『東京 2012 ～のぞまれずさずかれずあるもの～』(第32回テアトロ新人戯曲賞受賞)かわさき演劇まつりでは、2018年、2023年の演出を担当した。

大西さんは、  
来年のかわさき演劇まつりで上演予定の作品  
**みどりのゆび** を演出します。

『みどりのゆび』とは？  
フランスの作家、モーリス・ドリュオンの作品。  
やさしい両親に愛され、何不自由なく育ったチト少年の指には、不思議な力がありました。  
彼は、どこかに触れるたび、そこに落ちていた種を芽吹かせ、花を咲かせることができる「みどりのゆび」を持っていたのです。

みどりのゆびの出演者募集は別途行います。  
このワークショップは出演に必須のものではありません。

### ■対象

講座に関心のある方、小学5年生以上～大人

### ■定員

40名 (先着順)

### ■持ち物

動きやすい服装、タオル、飲み物、筆記用具、昼食  
※15日は上履きもお持ちください。

### ■参加費 (初日にお持ちください)

高校生以下 500円 一般 1000円

### ■申し込み期間

5月20日(月)～6月27日(木)

※定員に満たない場合には締め切り後も申し込みを受け付けます。

### ■申し込み方法

(1) 名前(ふりがな) (2) 年齢 (3) 住所 (4) 電話  
(5) メールアドレスに「かわさき演劇講座参加希望」と書き添え、  
FAXまたはメールでお送りください。

応募後、7日以内に受講案内をお送りします。

もし届かない場合は、ご一報ください。

### ■申し込み先

かわさき演劇まつり実行委員会 事務局

FAX 044-533-6694

メール matsuri\_engeki@yahoo.co.jp

### ■お問い合わせ

川崎市文化財団 044-272-7366  
(平日9時～17時)

川崎演劇協会 044-511-4951  
(非常勤、メールでも問い合わせ可)

## 【会場案内】

7月14日(日)



7月15日(月・祝)

### スペース京浜

川崎市幸区古市場 2-109



駅から南部沿線道路を渡り直進。古市場交差点の交番の裏手の道に入る。  
鹿島田駅から徒歩15分。  
川崎市バス「古市場交番前」から徒歩3分。